

令和元年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 北九州市上下水道局	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 北九州市上下水道局下水道計画課 藤井 信也
代表者氏名 上下水道局 中西 満信	TEL:093-582-2480 FAX:093-582-2533 sui-gesuikeikaku@city.kitakyushu.lg.jp

部門名 行政部門	事例名 「北九州市下水道100周年記念事業」における下水道事業の広報活動
-------------	---

事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等挿入して下さい）

平成30年に100周年を迎え実施した「北九州市下水道100周年記念事業」における下水道事業の広報活動について報告する。

(1) 下水道事業の理解促進

◆ 各イベントにおける模型や映像等を活用した下水道の仕組みの紹介、工事中の施設や浄化センター・ポンプ場の見学会等を通じ、水環境改善や浸水被害の軽減など下水道の役割や重要性について市民（特に未来を担う子どもたち）の理解を促進。



小学生を対象とした下水道施設見学会（工事中の管内に夢や思い出を描いた）



下水道施設見学会でのアンケート（使い終わった「軍手」を投票した）



小学校へ訪問し体験型の授業（活性汚泥の顕微鏡体験など）

◆ 未来を担う子どもたちが多く参加（ポスターコンテスト2,800人、下水道展3,700人など）し、下水道の必要性を実感してもらう機会となった。特に下水道展では、本市を含む九州管内の16自治体が共同で「オール九州・下水道コーナー」を設置し、多くの子どもたちが下水道について楽しく学んだ。



下水道をテーマにしたポスターコンテスト（各区一点の最優秀賞）

◆ 記念デザインマンホール設置やマンホールスタンプラリーの実施等により、下水道を身近に感じてもらい、関心や興味を高めるとともに、メディア等で広く下水道事業をPR  
※メディア（テレビ、ラジオ、新聞等）掲載件数：145件



「下水道展」18北九州（オール九州・下水道コーナー）

「当地マンホールずらり」  
小倉北区で「サミット」  
地域の特色をデザインしたマンホールの魅力を発信する「マンホールサミット」が、北九州市小倉北区で開催された。県内外のマンホール愛好家ら約50人が参加し、マンホールデザインコンテストの発表や、マンホールスタンプラリーの抽選発表が行われた。朝日新聞（朝刊）（H30.11.4）

(2) まちの賑わいづくり、北九州市の魅力発信

◆ 「下水道展」（4日間で約32,000人参加）や「マンホールサミット」（約5,000人参加）など、全国から多くの方が来場し、飲食や交通、宿泊など様々な経済効果を創出。賑わいづくりや北九州市の魅力発信の観点からも大きな成果が得られた。

エントリー事例の特徴

※下水道施設見学会等で実施したアンケートでは、9割以上の方が下水道の仕組みや役割について理解が深まったと回答

※下水道の未来を担う子どもたちから、

「下水道は見えなくてもがんばっている『縁の下の力持ち』」

「汚れた水が微生物できれいになる仕組みが良く理解できた」

「普段入らない下水道施設に入り、貴重な体験ができた」 など、発見や驚き、感謝の声など多くのコメントをいただいた。

今回の「北九州市下水道100周年記念事業」では、下水道の大切さを肌で感じてもらうとともに、下水道が「あって当たり前の施設」ではなく、「なくてはならない施設」との認識を深めていただく良い機会になったと考えている。

付属資料の提出	あり ・ なし（どちらかに○）
---------	-----------------